

H26年度の取組実績【益田市地域医療対策室】H27.3.31

支える

【地域医療】

○「益田の医療を守る市民の会」の活動支援・連携

【救急医療 ⇒ 病院勤務医】

○益田市休日応急診療事業（受付時間午前9時から12時30分）

患者実績：H21年度1,994名、H22年度1,407名、H23年度1,551名
H24年度1,522名、H25年度1,596名、H26年度1,618名

○ますだ健康ダイヤル24（健康医療電話相談24時間無料）

相談実績：H21年度2,064件、H22年度1,557件、H23年度1,928件
H24年度2,424件、H25年度2,703件、H26年度2,446件

【周産期医療】（周産期とは妊娠22週から生後満7日未満）

○周産期医療維持・継続等支援事業

10,000円×前年度の分娩件数を益田赤十字病院に助成

○産科医等確保（分娩手当）支援事業

分娩1件当たり10,000円を産科医に支給（市補助1/3）

【病院 ⇒ 地域医療】

○病院勤務医支援事業（4/16実施）

継続10年を迎える医師3名に感謝状と
特産品及び温泉利用券を贈呈

○公的病院に対する財政支援

○市広報への紹介

新規市広報への紹介（毎月医学生が登場）

○医療関係者との意見交換（益田市地域医療連携会議）

3病院（益田赤十字病院・医師会病院・松ヶ丘病院）・市民の会・議会と連携して
市内開業医との意見交換会7/30実施



H26. 4. 16 医師会病院



H26. 4. 16 益田赤十字病院

H26. 4. 16 松ヶ丘病院

【医師を益田市へ】

○赴任医師歓迎事業（4/16実施8名、12/18実施2名）

赴任医師に市内観光施設利用チケットを贈呈

○市出身医師への医師情報収集及び市からの情報発信の実施

○大学医学部訪問（島根大学、山口大学、広島市内病院他）

○市出身医師との面会（11/26）

○実習生受入事業（10/17-18 5名）

島根大学医学生、保健師実習生、薬剤師実習生を
1泊2日のホームステイでお寺に受入れ



H26. 4. 16 美都診療所



H26. 12. 18 益田赤十字病院

招く

○講演会「福祉・医療の現状と課題」開催 益田の医療を守る市民の会主催（総会6/1実施）↓

○しまね地域医療支援センターとの情報交換会（7/9）

○「地域医療フォーラム2014」へ参加（9/14 2名参加）

○「地域医療を守り育てる住民活動シンポジウム」へ参加

○島根地域医療を守り育てる住民活動7-カレッジ 10/19参加

○講演会「在宅医療を考える」開催（12/6）益田の医療を守る市民の会主催

○ふれあいミーティングの開催（H27.1.31 20名参加女性限定）

益田の医療を守る市民の会主催 講師：宮崎康二産婦人科医師

○周産期医療講演会（H27.2.28 約230名参加）講師：島根大学医学部：京産科婦人科教授、山口小児科教授

○「益田の医療を守る市民の会」の活動支援・連携

○益田市議会 福祉環境委員会

○益田赤十字病院「医療従事者確保対策委員会」の活動連携

○益田圏域医療担当者会議

○地域医療を守る街頭活動の実施 新規 5/17 実施「看護の日」市民啓発活動→

新規 9/9 実施「救急の日」市民啓発活動→



連携

「医療・健康に関心のある市民の広がりを支援します」「次世代の人材育成を支援します」

【医学生・看護学生】

○島根大学医学部医学科地域枠推薦入試への市長推薦

島根県の地域医療に貢献したい強い意志を持った学生を市長推薦（面接7/15、9/17実施）
入学状況（6年生2人、5年生2人、4年生2人、2年生2人）

○秦佐八郎（はた・さはちろう）博士顕彰医学生奨学金貸付制度（H18年度～）

市内の地域医療を担う医師確保のため医学生へ奨学金貸与
月額5万円、市内の医療機関への勤務により返還免除
貸付状況（H26年度11人＝島大、山大）

○石見高等看護学院地域推薦入学への市長推薦（H19年度～）

卒業後市内で就業することを確約する学生を市長推薦（9/24実施）
入学状況H19以降30名（3年生5人、2年生3人、1年生5人）
地域推薦入学者卒業生22名全員が市内病院勤務

○医学生、看護学生との意見交流会（H22年度～）

島根大学医学生（6年生）が市長表敬訪問（5/19、7/2）
島根大学医学部入学者との意見交換（5/22実施 医学生8名・医師4名参加）
石見高等看護学院地域入学生の意見交換（8/1実施 学生12名、卒業生6名参加）
益田圏域島根大学医学部入学者との意見交換（H27.2/15 5名）
益田市出身の自治医科大学医学生面談、山口大学医学生面談
医学生・石見高等看護学院生の入学・就職激励会（3/24）



H26. 5. 20 島根大学医学生との意見交換会

【中学生・小学生】

○中学生地域医療現場体験事業（H22年度～）

松ヶ丘病院（職場体験4中学校14名受入）
医師会病院（職場体験9中学校28名受入）
益田赤十字病院（職場体験6中学校16名受入）

○石見高等看護学生と地域の子どものふれあい活動事業（H21年度～）

看護学生約40名が市内の小中学校で実施予定（12/10 2小学校100名）

○先輩から後輩へ伝え、学ぶ授業（H23年度～）

現役医師が母校の中学校で授業（横田中学校 産婦人科医 10/28実施）



H26. 8. 1 看護学生との意見交換会



中学生の医療現場体験



産婦人科医からのメッセージ



看護学生と小学生とのふれあい授業



【高校生・中学生・小学生・幼児】

○新規産んでくれてありがとう教室（地域少子化対策強化事業）

助産師・保育士による『命』をつないでいくことの大切さを伝える
（12/4、H27.1/29、2/7、2/10、2/14、2/24、3/4、3/5実施）

○県知事要望 綺羅星会（5/30実施）

○国（政府・省庁）に対し、地方の医師不足を解消する要望活動

○大学・病院へ医師確保に向けて要望活動（島根大学医学部訪問5/20、8/4、11/14、H27.1/14）

○益田地区広域市町村圏事務組合による医療体制確保



保育園児への産んでくれてありがとう教室

要望



みんなで医療を支える益田市をめざして...